

栃木県生協連・2011年度7月定例報告

2011年7月20日
栃木県連 専務 鎌柄

(1) 6月活動日誌

日付	曜日	日誌
6月2日	木	消費者ネット幹事会、県くらし安全安心課との意見交換会
6月4日	土	いわき市小名浜にボランティア派遣
6月5日	日	NPOサポートネット総会
6月6日	月	県知事へ義捐金贈呈、宇都宮市職員生協総代会
6月7日	火	県連くらし部会
6月9日	木	生活クラブ生協総代会、食の安全ネットワーク・世話人会
6月11日	土	いわき市小名浜にボランティア派遣(雨天で中止)
6月13日	月	労福協幹事会
6月14日	火	パルシステム茨城総代会、ブリヂストン那須生協総代会
6月15日	水	富士重工生協総代会
6月16日	木	とちぎコープ総代会、農産物マーケティング協会理事会
6月17日	金	日生協総会
6月18日	土	よつ葉生協総代会、いわき市小名浜にボランティア派遣
6月20日	月	県連福祉事業委員会
6月21日	火	栃木県学校生協総代会
6月23日	木	農産物マーケティング協会総会
6月24日	金	県連総会
6月25日	土	くらしと協同の研究所シンポジウム
6月26日	日	同上シンポジウム、栃木保健医療生協総代会
6月30日	木	栃木県職員生協総代会

東日本大震災を受けて、まとめは概況とします。

(2) 6月活動の概況

(東日本大震災への対応)

1. 栃木県連としての対応

5月から栃木県連独自企画でのボランティア派遣を行い、6月は2回派遣を行った。梅雨入りしたこともあり天候が不順でこの間2回中止しているが、現地では晴れていることもあり基本は実施することとし、最終いわき市小名浜ボランティアセンター現地での判断に切り替えてきている。複数回の参加者も徐々に増えて来ている。7月も継続する為、引き続き協力をお願いしたい。

2. 日本生協連としての対応

東北3県の被災地への支援として、大槌町とその周辺の避難所への引っ越し派遣、ボランティアセンターでのスタッフとしての長期支援。併せて、3県の被災6生協へのおさそい支援への派遣が実施されている。

全国の生協からの募金は、第1次集約分で約4億円弱の内、栃木県のとちまる募金金に対しては、334万円を5月10日に日生協より送金され、6月6日栃木県福田知

事に対して県連竹内会長と鎌柄で目録を贈呈させていただいた。併せて、パルシステム連合としての組合員募金約311万円を、パルシステム茨城の小谷理事長、野口部長、連合会の松本執行役員3名で贈呈された。



(福田富一栃木県知事を囲んで、左から小谷理事長、竹内会長、右端は松本執行役員)

6月17日の日本生協連総会では、3号議案を東日本大震災関連議案として立て、これまでの取り組み報告と今後の対応について、確認される予定。被災生協へのお見舞金として6億円を目標に会員に協力を呼びかけることが確認された。

(食の安全課題の関連)

5月9日食の安全ネットワーク世話人会では、「とちぎ食品安全フォーラム」を今年も県と共催することとし、第1次の内容検討を行った。食品安全委員会で「放射性物質の食品健康影響評価報告」が8月に出される予定で、9月13日午後にはフォーラムを開催することが確認された。

また、7月15日に全体会では学習として「食肉の衛生管理について」県生活衛生課に講師を依頼し、学習会を開催することとした。

(消費者課題の関連)

6月2日消費者ネット幹事会では、今年度計画の具体化として13町への訪問活動、14市へのアンケート活動を実施することを全体会に提案していくこととした。7月7日に県くらし安全安心課との意見交換会を行い、それを受けて具体的な進め方を検討することとしている。

(会員総代会及び県連総会)

10会員で6月に総代会が開催された。第4四半期に経常剰余を確保された会員もあるものの、6会員が2010年度の経常剰余が赤字で厳しい環境が続いている。震災後一人当たり利用が高まったとの地域生協の報告もあるが、2011年度の見通しは不透明な為組合員のくらしに沿って予断なく進めていくことが必要と思われる。

県連総会では、震災対応、国際協同組合年に向けた取り組みを重視していく方針が確認され、役員補充選任も行われた。議長を務めていただいた沼尾総代にお礼を申し上げたい。総会後の理事会で、栃木県職員生協の白土専務が県連副会長として互選された。

(県及び他団体との協働)

6月2日県くらし安全安心課と生協連の意見交換会が行われた。入野課長から生協の期待や課題などとして報告をいただき、率直に意見交換することができた。国際協同組合年についても協力をお願いした。

(3) 7～9月の課題

1. 7～9月部会・委員会活動の推進
2. 7～9月ネットワーク活動（食の安全ネット全体会、消費者ネット全体会）推進
3. 9月5日国際協同組合年に向けた「暮らし部会拡大学習会」の準備と成功
4. 9月13日「とちぎ食品安全フォーラム」の準備と成功
5. 協同組合間連携による国際協同組合年に向けた推進
6. 震災被災地への支援・ボランティア派遣

(4) 今後の予定

1. 7月15日（金）とちぎ食の安全ネットワーク・全体会と学習会
 - ・ 7月15日（金）14時半から1時間程度、とちぎアグリプラザ
 - ・ テーマ「食肉の衛生管理について」、
 - ・ 講師・県保健福祉部生活衛生課 食品衛生担当 石綱 祐美子氏
2. 9月5日（月）栃木県連暮らし部会拡大学習会
 - ・ 9月5日（月）10時～12時、とちぎ福祉プラザ・第2研修室で
 - ・ 仮題「協同組合原則と国際協同組合年」
 - ・ 講師・公益財団法人 生協総合研究所 理事 栗本 昭氏